



# 組合すていしょん

～組合事務局紹介～

三重県鐵構工業協同組合

三重県鐵構工業協同組合さんを訪問し、お仕事の内容について伺うと、村木局長は「性能評価のサポートをしています。」と答えてくださいました。

当組合員は、鉄骨建築のファブリケーター（製造・加工業者）で、ファブリケーターには鉄骨製作工場認定制度という大臣認定の5段階のグレードがあります。

グレードは、品質管理体制や製作実績および研究開発能力等についての5年ごとの国の審査で決まります。村木局長は、審査内容等について、組合員企業に出向きサポートしています。

そして、牧野さんは主に経理を担当されていますが、村木局長は、「『性能評価のサポート』以外は全部牧野さんに任せています！」と笑って話してくださいました。

組合PRをお願いすると、資格を取得できること、そして、困ったときには相談できる組合でありたいとも。また、鉄骨建築は地震等の揺れにも強く、耐火性もあります。鉄は溶かしてリユース、リサイクルできるので環境にも優しいんです、と。



左から村木啓晃事務局長、牧野智子さん

お仕事で心がけていることについて伺うと、村木局長は「もちろん、全企業の合格!」。そして、牧野さんは、「組合員さんが当組合に入ってよかったと思っていただけることを常に念頭において仕事をしています。」と話してくれました。また、お二人とも「組合員さんが増えていくよう対応していきたい。」と話され、「鉄骨製造業」、「鉄骨製作工場の仕事の内容」等を理解して関心をもっていたきたい、と当業界の全国団体が製作したDVD (<http://www.jsfa.or.jp/movie.html>でご覧いただけます)を紹介されました。

## セメントのこと

ちよつと教えてください!

今回は、セメントに関係のあることを三重県セメント卸協同組合さんに教えていただきました。

### Q セメントについて教えてください。

**A** セメントというと、多くの方は灰色の粉末を思い出されることと思います。そのセメントは、単品で使うのではなく、混ぜ物をして、コンクリートやモルタルを作るための、いわゆる原料で、水による化学反応で硬化します。一般的に使用されているのは、「普通ポルトランドセメント」ですが、「高炉セメント」や「早強ポルトランドセメント」などセメントには数種類あり、用途によって使い分けます。当組合では、それら粉末のセメントを袋に入れた袋セメントを扱っています。

### Q セメントの原料について教えてください。

**A** 主な原料は石灰石です。当県にもいなべ市藤原町にセメント工場がありますが、石灰石のほとんどは日本国内で産出されます。北海道から沖縄まで、全国各地の山で石灰石を掘り出すことができ、今後100年以上国産で賄うことができると考えられています。

### Q コンクリートとモルタルの違いを教えてください。

**A** 「コンクリート」は、セメントに砂と砂利、水を混ぜ硬化させたもので、硬化する前の状態は「生コンクリート(生コン)」と呼ばれることが多く、モルタルに比べて強度が高いため、土木・建築に幅広く使用される建築資材です。駐車場舗装や、フェンス、ブロック塀の基礎など、圧力がかかるところは全てコンクリートです。

「モルタル」は、セメントと砂、水を練り混ぜた建築資材です。硬化した状態のものもモルタルといい、主にレンガやブロックの目地や、コンクリート表面の仕上げに使われます。

### Q セメントが環境に大きく貢献していると聞きましたが。

**A** 製造過程で、近年では粘土の代わりに、火力発電所で燃やした石炭の灰や、製鉄所で鉄鉱石から鉄を取り出した後の物、建設現場から発生する建設発生土などを受け入れて天然資源の使用を節約しています。また、1400℃の高温で製造するのでダイオキシンの発生もなく、環境に大きく貢献しています。

業界  
まめ知識